

羅 針 盤		※各学校 で設定	達 成 度			改 善 状 況 の ま と め	次 年 度 の 課 題
評 価 対 象	評 価 項 目		具体的数値項目	①	②		
I 幼児児童生徒の地域における豊かな生活の実現に向けて努めていますか。	1 保護者、地域、関係機関に学校の教育活動について、具体的に伝えていますか。	PTAが関連する総会や事業に参加した保護者の80%以上が満足している。	渉外部	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ● 更に開催方法等の工夫で負担を減らしていく。 ● 更なるタイムリーな情報提供を望む意見もあるので、Webページ業務等の効率化や動画配信などを研究する。 ● 今後も感染症への対応のため今までどおりの学校公開は難しいので、インターネットやWebページ上の動画公開などで広報していく。 ● 感染症への対応のためPTA行事での周知は難しいので、インターネットや一斉メール等を活用し90%以上の達成を目指す。 ● ふじっこクラブに参加する児童や保護者には満足いただいているが、本校に進学する希望がある児童のみの少ない参加者となっている。地域の問題を抱えた児童等の支えとなるようにしたい。
		学部・学級便りや連絡帳、ホームページ等から「お子さんの学習の様子がよく分かる」と保護者の80%以上が答えている。	教務部各学部	A	A	A	
		学校行事や説明会等の学校公開で、保護者以外の来校者・参加者が年150人以上である。	教務部	C	C	C	
		いじめの認知の仕方について保護者の90%以上が理解している。	生徒指導部 教務部	—	B	B	
II 地域の特別支援に関するセンター的な役割を果たしていますか。	3 障害のある幼児児童生徒の教育について、助言援助に努めていますか。	「ふじっこくらぶ」のスタッフ（本校職員・市教委指導主事）及び参加児保護者の90%以上が就学先の相談の場として有効であると答えている。	地域支援部	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ● 例年に比べ巡回相談の回数は少ないが年度後半は回復してきた。また、以前は小学校がほとんどであった相手先も、幼稚園や中学校へと広がってきている。
		巡回相談後、手立てなど話し合った内容を校内に周知し、共通理解・指導を図っていると相談者の90%が答えている。	地域支援部	B	B	B	
III 幼児児童生徒一人一人の実態に応じた適切な指導をしていますか。	4 個に応じたきめ細かな指導を行っていますか。	90%の保護者が「個別の指導計画」の指導内容についてお子さんの実態に合ったものであると答えている。	学習指導部各学部	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ● 更なる保護者の参画や効率的な計画作成のための書式の改善を望む意見があるので、教務部で検討する。 ● 次年度に向け分掌業務等を整理するとともに、業務内容、優先的に取り組むべき課題について明確にすることで、更なる効率化を図る。
		校内研修のテーマに沿った事例検討と研修内容の共有を月1回程度行う。	学習指導部	B	B	B	
IV 健康や安全の確保に努めていますか。	6 健康に関する配慮や対応を適切に行っていますか。	感染症対策について学校からの情報提供や対応に保護者の90%以上が満足している。	保健安全部	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ● 様式が見やすく、分かりやすくなるように検討、改訂する。 ● 押印省略を含め、Webページ等を通じて情報を発信していく。 ● 学校の取組を説明する機会が持っていないので、今後も更に機会を探り、Webページやお便りなどで積極的に周知していく。
		90%以上の職員が、災害時の対応マニュアルをわかり易いと答えている。	保健安全部	A	A	A	
V 将来の生き方に結びつく進路指導を行っていますか。	8 キャリア教育の視点から、指導内容を整理して系統的な指導を行っていますか。	小学部から中学部、そして高等部へと一貫した指導計画を立案し、100%の教員が説明できる。	移行支援部各学部	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ● 自主的な研修も含め、学校全体で取り組んでいるという気運を醸成していく。 ● 今後は指導計画、授業での更なるキャリア教育の具体化を目指し、小中の頃から先を見据えた指導の更なる充実を図る。 ● 保護者との面談の機会は減っているので、密を避けつつ適宜面談を実施できるようにする。
		「小学部→中学部、中学部→高等部、高等部→社会」の移行に向け、早期から本人及び保護者と協議する。	移行支援部各学部	A	A	A	
V 将来の生き方に結びつく進路指導を行っていますか。	9 保護者、関係機関との連携のもとに発達段階に応じた進路指導を行っていますか。	小学部から中学部、そして高等部へと一貫した指導計画を立案し、100%の教員が説明できる。	移行支援部各学部	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ● 職員研修の一つのテーマとして取り上げ好評を得ていて、具体化も進んだ。 ● キャリア教育全体計画の完成、キャリアパスポートの実施を達成できた。 ● PTA進路研修は実施できた。丁寧に進路面談をしたり、PTA行事のテーマとしたりして充実はしてきている。
		「小学部→中学部、中学部→高等部、高等部→社会」の移行に向け、早期から本人及び保護者と協議する。	移行支援部各学部	A	A	A	